

3Mジャパングループの地域貢献活動 3M 夏休み子ども科学実験館を3拠点で開催

3Mジャパングループは2017年7月29日（土）・7月30日（日）の2日にわたって、夏休みに当社の拠点に小学生の子どもたちを招待する「3M 夏休み子ども科学実験館」を実施しました。素材・日用品メーカーとして科学を扱う3Mジャパングループでは、次世代を担う子どもたちに科学への関心を持ってもらうため、全国の主要拠点において地域貢献活動の一環として、毎年小学校高学年の児童を対象とした科学実験教室を開催しています。



左から相模原事業所（Wizard 大学院）、スリーエム ジャパンプロダクツ山形事業所（音のふしぎ）、同岩手事業所（光の科学）

「3M 夏休み子ども科学実験館」は、今年で22年目を迎えます。小学校高学年の児童を対象に、国内の主要な製造事業所や研究所で開催しています。今年は、スリーエム ジャパン株式会社 相模原事業所（神奈川県相模原市）88名、スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社 山形事業所（山形県東根市）82名、同岩手事業所（岩手県北上市）26名、合計196名の児童が参加しました。毎年異なる実験内容の考案や実験の指導・サポートは各拠点の社員ボランティアによって行われており、今年は合計152名の社員が参加しました。

また、9月6日（水）にはスリーエム ジャパンの本社から最も近い小学校である、御殿山小学校（東京都品川区）の6年生2クラス（53名）で訪問形式の科学実験教室を開催します。

当社社員のボランティアによって運営、実施される3Mの子ども向け科学実験教室は、参加する社員にとっても通常の業務と異なる経験による刺激とリフレッシュの機会、またなによりの地域社会との貴重な交流の場となっています。3Mジャパングループでは、今後も子ども科学実験館の開催を通じ、ひとりでも多くの子どもたちに科学の面白さを知ってもらいたいと考えています。

【開催の概要】

事業所	スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社 山形事業所	スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社 岩手事業所	スリーエム ジャパン 株式会社 相模原事業所
開催日	7月29日(土)	7月29日(土)	7月30日(日)
実験テーマ	にのいの科学 音のふしぎ	光の科学 撥水の科学 ぬれる科学	音の科学 磁石の科学 Wizard 大学院※
参加児童数	82名	26名	88名
ボランティア数	59名	24名	69名

※Wizard 大学院は、子どもたち自身が課題解決のアイデアを発想から発表まで行うプログラムです。今年は、①長い時間、遠くに飛ぶものを作る、②重いものを長い時間浮きあがらせるものを作る、③紙を使って重いものを支える、という3つの課題に挑戦しました。

【3Mの子ども向け科学実験教室】

米国ミネソタ州に本社をおきポスト・イット® 製品や道路標識用の反射材を開発した素材・日用品メーカーである3M社は1985年より、社員ボランティアやOBが地域の小学校を訪問し、科学実験講座を実施しています。全米各地で実施し、これまでに延べ約50万人の子どもたちが参加してきました。

日本では1993年にスタートし「子ども科学実験館」の名称で、旧本社(世田谷区)を始め、国内の主要研究・製造事業所である、相模原事業所、スリーエム ジャパン プロダクツ株式会社山形事業所、同岩手事業所で開催してきました。

3M、ポスト・イットは3M社の商標です。